

平成31年度「実践支援プロジェクト」の概要

◆ 当局指導主事による出前支援

学校（園）の要請に応じて、保育・教科・領域等の研究や校内・園内研修等を支援するため当局指導主事を派遣し、教師力の向上を図る。



<支援内容（例）>

- 幼小中連携による授業研究やグループ研修などにおける指導助言
- 「目標と指導と評価の一体化」を重視した授業づくり
- 「主体的で対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- 各教科、特別の教科道徳、小学校外国語活動等の授業づくり 等

◆ 京都教育大学との連携による研究実践支援

京都教育大学が、学校（園）の研究実践を支援するため、講師の派遣等をとおして、研究実践を支援する。

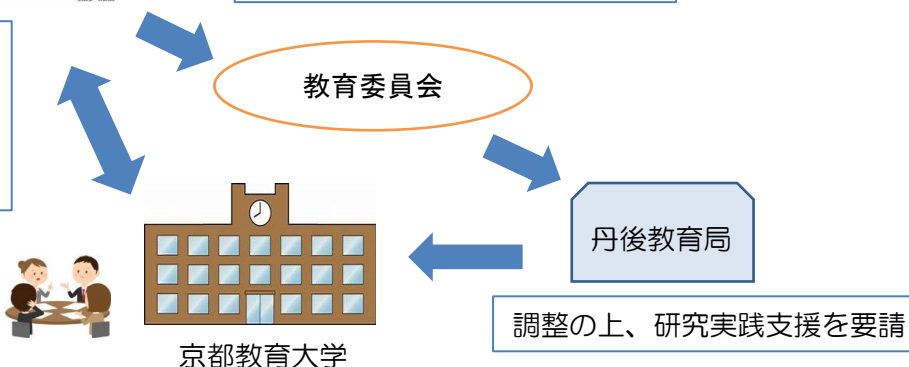
幼稚園、認定こども園、小・中学校



支援を希望する学校（園）は、研究テーマ、希望する支援内容を各市町（組合）教育委員会を通じて、丹後教育局へ提出

具体的な支援内容等について連携を図り、京都教育大学から講師を派遣し、研究実践を継続的に支援する。

研究推進リーダーは、メンターシップ研修を受講し、研究の活性化に努める。



<支援内容（例）>

- 義務教育修了を見据えた実効的な保幼小連携の推進
- 児童の学力向上とコミュニケーション能力の育成
- 幼児教育から小学校教育への円滑な移行を目指した連携
- 小学校「外国語活動」から中学校「英語」への円滑な接続を目指した小中連携 等